

講義科目名称： 公衆衛生学実習

授業コード： 51200400 51200410

英文科目名称： Practice in Public Hygiene

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
相羽 洋子			
水3、4、5 木2、3、4			
添付ファイル			

科目の概要	社会・環境と健康及び公衆衛生学の講義で学んだ基礎知識を使って、地域社会の公衆衛生学の問題の解決に取り組むことができるよう、その背景や問題の特定、分析や評価方法について講義する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の説明等） シラバスを事前に読んでおくこと。</p> <p>第2回 健康に関する問題（1） わが国の人口構造を示した人口ピラミッドを作成し、社会情勢との関連や公衆衛生学の問題点を見つける。 1年次後期で学修した人口構造について復習しておくこと。</p> <p>第3回 健康に関する問題（2） 感染症について、その発生状況や予防対策など調べて課題を見つける。 2年次前期で学修した感染症について復習しておくこと。</p> <p>第4回 健康に関する問題（3） 給食調理室における調理実習時の外傷等について、ディスカッションを通して、その予防対策や課題を見つける。 2年次前期で学修した産業保健について復習しておくこと。</p> <p>第5回 健康に関する問題（4） 都道府県別の健康情報を収集し、その課題を見つけて要約する方法を学ぶ。 インターネットなどを利用して、科学的根拠のある健康情報などを理解しておくこと。</p> <p>第6回 環境測定 学校環境衛生基準に基づいて校内の環境測定を体験し、課題を見つける。 フリッカーを用いて疲労度を測定し、校内の環境との関連を体験する。 2年次前期で学修した学校保健について復習しておくこと。</p> <p>第7回 地域社会の公衆衛生学の問題（1） 大阪府の公衆衛生学の問題点について情報を収集し、グループの考えを論理的に表現できるようにする。 大阪府の様々な問題点について、新聞・ニュースなどを通して理解しておくこと。</p> <p>第8回 地域社会の公衆衛生学の問題（2） 大阪府の公衆衛生学の問題点について情報を収集し、グループの考えを論理的に表現できるようにする。 大阪府の様々な問題点について、新聞・ニュースなどを通して理解しておくこと。</p>
学習到達目標	公衆衛生学の講義で修得した知識を基礎として、地域社会の問題やその背景を理解できるようになる。公衆衛生学の問題について解決のポイントを理解し、その結果をプレゼンテーションできるようになることを目的とする。
授業の方法	グループで所定のテーマについて科学的根拠のある情報を収集し、グループワークにより結論を作成してプレゼンテーションを行う。
成績評価の方法	レポート（80%）および発表態度・受講態度（20%）から総合的に評価する。
教科書・テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考書	必要に応じてプリントを配布する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	新聞・ニュースなどを通じて、社会的に話題となっている健康関連の話題に関心をもつこと。
履修上の留意事項	居眠り、携帯電話・スマートフォンの操作、他の授業の宿題をする、等は厳禁とする。
オフィスアワー	火曜日 1時限、2時限
実務経験	薬剤師、衛生工学衛生管理者、衛生管理者、VDTインストラクター
その他	